

## 建設関係団体等からの意見聴取について（案）

### 1 趣旨

建設工事等の受注者である関係団体及び個別事業者から意見を聴取することにより、現在の入札・契約制度の課題を把握し、今後の制度の見直しに資することを目的とする。

### 2 開催日時

次回委員会開催時

### 3 意見聴取の方法

- (1) 建設工事の各種団体、建設工事関連委託業務の関係団体及び個別事業者から、個別に意見を聴取する。
- (2) 各団体等ごとに、まず現在の入札・契約制度に対する意見を10分～15分程度述べていただき、その後委員との質疑応答を10分～15分程度行う。
- (3) あらかじめ事務局から調査票（別紙案）を送付し、事前に提出していただくこととする。

### 4 意見聴取の対象候補

- (1) 一般社団法人福島県建設業協会
- (2) 福島県総合設備協会
- (3) 福島県建設専門工事業団体連合会
- (4) 福島県土木建築調査設計団体協議会
- (5) 建設工事の個別事業者2者

### 5 その他

- (1) 各団体に対しては、会員の意見を幅広く集約した意見をいただけるよう依頼する。
- (2) 会議は原則公開とするが、個別事業者からの意見聴取については、会社の経営方針に関する内容となることから、「福島県入札制度等監視委員会の会議の公開等に関する取扱要領」第2条第1項第1号により、非公開とする。
- (3) 今後、変更等が生じた場合は、委員長と事務局が調整の上、決定する。

## 意見聴き取り調査票

(一般社団法人福島県建設業協会・総合設備協会)

### 1 総合評価方式について

(1) 評価項目の中で、見直しが必要と思う項目があれば、その内容と理由をお聞かせください。

(2) 総合評価方式に関する提出書類の中で、見直しが必要と思う書類があれば、その内容と理由をお聞かせください。

(3) 本県では、品質の確保の観点から、総合評価方式を公共工事の調達方式の中心と位置付け、地元企業の受注機会の確保にも配慮し運用しているところですが、受注者側からみた総合評価方式の問題点があればお聞かせください。

(4) 総合評価方式全般について意見がありましたらお聞かせ下さい。

## 2 元請・下請関係の適正化対策について

(1) 平成28年度から、県発注工事において下請契約を締結する際には、法定福利費を別立てにした見積りによることを元請業者に対して求めることとしていますが、見積書への法定福利費の明示を徹底するためには、どんなことが効果的であるかお聞かせください。

(2) 平成28年度下請状況実地調査において、変更契約書の取り交わしがなされていない事例等がありましたが、このような状況を改善するためには、どのような取組が有効であるとお考えかお聞かせください。

(3) 土木工事の共通仕様書で、下請契約を締結する場合は極力県内業者を選定することとしており、総合評価方式においても県内業者活用の割合が一定程度あれば加点評価し、県内業者の活用を促進していますが、下請の県内業者活用について、貴協会では元請に対してどのような取組をされているかお聞かせください。

### 3 電子入札・電子閲覧について

(1) 電子入札システムへの利用者登録状況は有資格業者全体に対して工事が4割(38%)程度、測量等が5割(50%)程度となっていますが、電子入札への参加を促進するためには、どのような取組が有効であるとお考えかお聞かせください。

(2) 電子入札・電子閲覧について、御意見等があればお聞かせください。

#### 4 情報の把握手段について

(1) 入札制度の改正をはじめ、入札等に関する情報は、主にどのような手段によって把握しているかお聞かせください。

#### 5 その他

その他現在の県の入札制度について、御意見等があればお聞かせください。  
(その他設備業界に特有の傾向、御意見等があればお聞かせください。)  
(※総合設備協会にのみ追加)

# 意見聴き取り調査票

(福島県建設専門工事業団体連合会)

## 1 元請・下請関係の適正化対策について

(1) これまで一次下請は社会保険等加入者を選定することとしておりましたが、この取扱を平成29年5月から二次下請以降にも拡大しました。加入率の改善状況など、拡大後の状況についてお聞かせください。

(2) 法定福利費の見積書への明示及び適正な支払いを徹底するには、どんなことが効果的であるかお聞かせください。

## 2 下請負業務の受注について

昨年度の御意見を踏まえて地元下請業者の活用を促すよう29年1月土木部内に改めて周知したところですが、その後の状況についてお聞かせください。

## 3 情報の把握手段について

入札制度の改正をはじめ、入札等に関する情報は、主にどのような手段によって把握しているかお聞かせください。

## 4 その他

その他現在の県の入札制度について、御意見等があればお聞かせください。

## 意見聴き取り調査票

(福島県土木建築調査設計団体協議会)

### 1 総合評価方式について

(1) 測量等委託業務については、現在、価格競争での発注が大部分を占めますが、総合評価方式での実施について、御意見等(〇〇業務は総合評価が望ましい等)があればお聞かせください。

(2) 評価項目の中で、見直しが必要と思う項目があれば、その内容と理由をお聞かせください。

(3) 総合評価方式に関する提出書類の中で、見直しが必要と思う書類があれば、その内容と理由をお聞かせください。

(4) 受注者側からみた総合評価方式の問題点があればお聞かせください。

(5) 県の総合評価方式について、御意見等があればお聞かせください。

## 2 入札制度について

測量等委託業務については、受託者の技術力に影響される部分が多いことから、指名競争入札方式を標準としているところですが、御意見があればお聞かせください。

### 3 電子入札・電子閲覧について

(1) 電子入札システムへの利用者登録状況は有資格業者全体に対して工事が4割(38%)程度、測量等が5割(50%)程度ですが、電子入札への参加を促進するためには、どのような取組が有効であるとお考えかお聞かせください。

(2) 電子入札・電子閲覧について、御意見等があればお聞かせください。

#### 4 情報の把握手段について

入札制度の改正をはじめ、入札等に関する情報は、主にどのような手段によって把握しているかお聞かせください。

#### 5 その他

その他現在の県の入札制度について、御意見等があればお聞かせください。

## 意見聴き取り調査票

(個別事業者)

### 1 事業者の概要

創業年数	〇〇年
入札参加資格登録業種	〇〇工事、〇〇工事
従業員数	〇〇名
受注割合	元請〇割、下請〇割
	公共〇割、民間〇割
応札を検討する範囲	(発注金額、現場までの通勤時間、地形などの要因)

### 2 景況について

(1) 震災から6年が経過しましたが、貴社の受注件数や受注額に変化はみられますか。

(2) 最近の建設業における景況はどのような状況にあると感じていますか。

### 3 元請・下請関係の適正化対策について

(1) 下請に出す場合、下請の相手方の選定に当たってどんなことを重視されていますか。

(2) 下請の依頼があった場合、元請からはどんなことを重視されていると感じますか。

(3) 下請契約に際して、法定福利費を別立てで明示した見積書を活用していますか。

(4) 法定福利費の見積書への明示や適正な支払いが徹底されない理由はどんなことにあると考えていますか。

(5) 下請契約について、当初契約及び変更契約を締結してから工事を行うことを徹底していますか。

#### 4 情報の把握手段について

(1) 入札制度の改正をはじめ、入札等に関する情報は、主にどのような手段によって把握しているかお聞かせください。

(2) 県の発注見通しについて、どのような方法で把握し、またどんな点を重視して見えていますか。併せて、見直すべき点があればお聞かせください。

#### 5 その他

その他現在の県の入札制度について、御意見等があればお聞かせください。